

地域で 頼られる 存在に



伊藤 亘

ITO Wataru

税理士法人宮田会計
課長
(石川県金沢市)

「ご縁に感謝」。福井県あわら市の農業法人から渡された名刺には、この言葉が書いてあり、心を撃ち抜かれました。まさにこの出会いは日本公庫の事業の関連で引き合わせていただいた「ご縁」で実現した、ということもありましたし、私のこれまでの仕事人生を振り返っても、まさに「ご縁」に恵まれてきたものであったことを思い出させてもらいました。

最近、農業法人のお客さまから合併や清算に際して、どのような手続きが必要か、といった相談を受けるようになりました。合併にあっては構成員間、出身法人間で不公平がないように心を配る、清算にあっては次の担い手に円滑に農業資産を引き継ぎ、農業生産が継続していくように心を配る。そんな

いとうわたる

1977年石川県生まれ。上級農業経営アドバイザーであった宮田吉弘税理士とのご縁で会計事務所職員に転じる。農業者を中心に会計、経営改善支援に携わる。

意識を持って、県などの関係機関との「ご縁」も活用して対応しています。

相談のなかで感じるのは、合併などのゴールの直前のタイミングで持ち込まれる相談が多いことで

めには、日ごろからの関係構築を進め、相談する相手としての信頼感を得ておくことが肝要と感じています。いまはさまざまな機関で事業承継対策の態勢が整っています。「ご縁」をもとに思い切って一步を



©高橋 智裕

す。とある集落営農法人の例では、合併の方針が前期末の時点で決まっていたものの、具体的な手続きにはそんなに時間がかからないだろうと高をくくり、合併まで半年を切った時点で会計事務を手伝ってほしいと相談を持ち込んできたものがありました。合併にあたっては公平性を担保するため、財務デューデリジェンスをおこない、合併にあたっての出資比率を計算することになりますが、合併までの日が短い場合、取り得る対策も限られることになります。このようにならないた

踏み出す、そのひと押しの取り組みが必要と感じています。

「あんたがおるさけ行くんや」は石川県のローカルCMで流れていたフレーズで、当地域の方言であなたがいるから行くんだよという意味になります。これまでいただいた「ご縁に感謝」して、いつしか私が「あんたがおるさけ行くんや」と言われるような存在になっていきたい。いろんな困りごとに一番に相談される、地域で頼られる存在になっていきたい。そうなれるよう、日々研鑽を積んでいます。 **F**



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。